

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

香川県 高松市

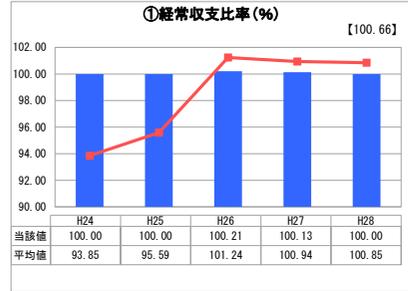
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	46.99	2.18	100.00	2,461

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
429,242	375.41	1,143.40
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
9,301	4.16	2,235.82

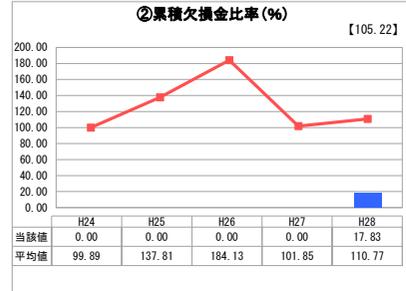
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

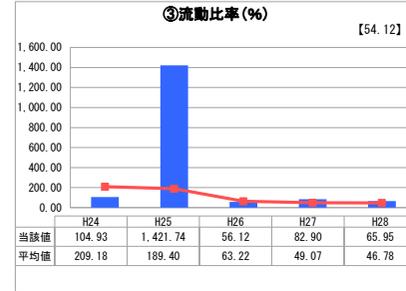
## 1. 経営の健全性・効率性



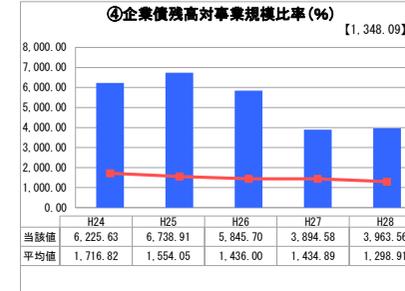
「経常損益」



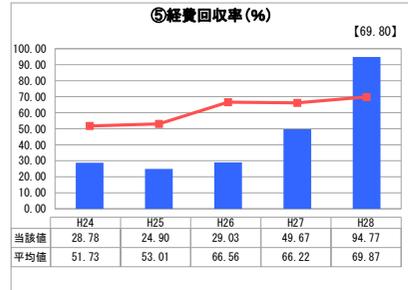
「累積欠損」



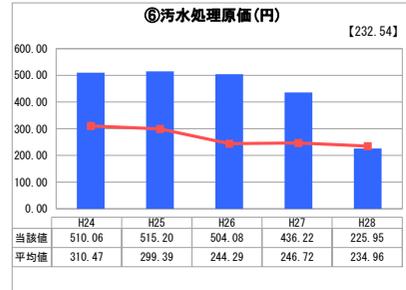
「支払能力」



「債務残高」



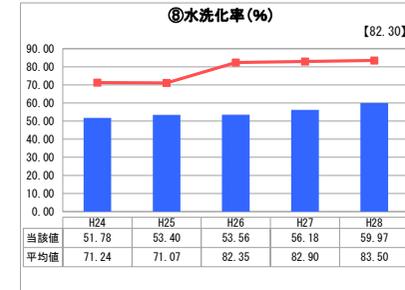
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

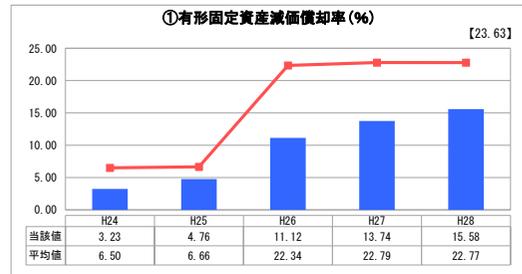


「施設の効率性」

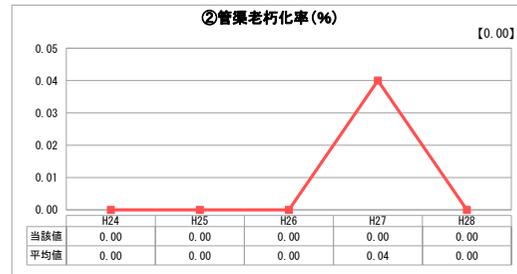


「使用料対象の捕捉」

## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析概

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、一般会計からの繰入金で収益的収支を合わせていることから、経常収支比率は100前後となっている。

②累積欠損金比率については、土地の一部を市長部局へ無償譲渡したことに伴い発生した譲渡損に伴う欠損金であるが、平成29年6月に議会の議決を経て、資本金を取り崩し、欠損金を補てんした。

⑤経費回収率、⑥汚水処理原価については、一般会計繰入金の算定方法について、国からの指示により見直した結果、汚水処理費が減少したため、改善した。

特定環境保全公共下水道は、公共下水道など一体的に運営していることで維持管理費などは比較的安く抑えられているが、地域的に人口減少がより進んでいくことが見込まれるため、水洗化率の更なる向上は望みにくい状況である。経営状況は、今後更に厳しさを増すものと見込まれることから、より一層、効率的な事業経営をしていく必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

特定環境保全公共下水道は、旧合併町が行っていた事業で、最も供用開始が早い町でも平成11年度からと、公共下水道よりも整備時期が新しいため、現時点では老朽化対策は行っていない。今後も効率的な改築、更新等に努めたい。

### 全体総括

管渠の整備はほぼ完了し、後は維持管理にシフトすることから、下水道施設全体の中長期的な施設の状態を予測した計画的・効率的な維持管理、改築を行うなど、適切な事業運営に努める。また、平成27年度に改定した高松市上下水道事業基本計画（経営戦略）に基づき、効率的・効果的な普及促進活動を行い、下水道未接続世帯の解消を図るとともに、収入の確保に努める。特定環境保全公共下水道の場合、人口密集率が少ない地域が多いことから、公共下水道以上に適切な事業経営に努めたい。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。  
 ※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。